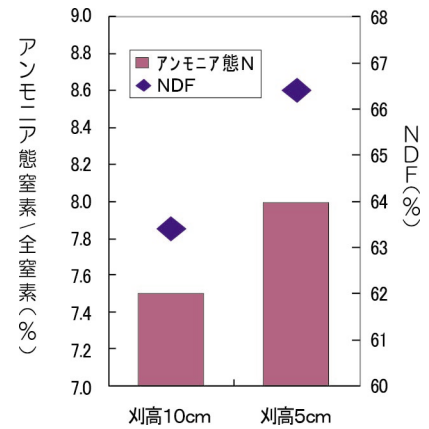


3 サイレージ発酵品質と刈り高

(1) 刈り取り高がサイレージ発酵品質に及ぼす影響

- 刈り高10cmの方が刈り高5cmよりアンモニア態窒素/全窒素(%)が低く、発酵品質が良い。
- 刈り高5cmより刈り高10cmの方がNDF(センイ)が低い。

(結論) 刈り高を高くするとスラリーなど異物の混入が減少し、発酵品質が向上する



(H21普及センタープロジェクトより)

図1 刈り高によるアンモニア態窒素/全窒素とNDFへの影響

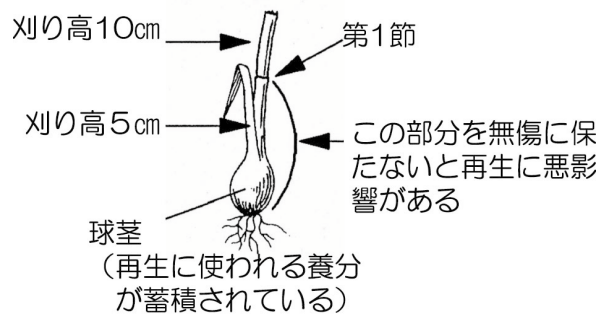
(2) 刈り取り高による再生の違い

チモシーは刈り取り後、球茎に残された養分を利用して再生します。

再生を良好にするためには、第1節を無傷に保つ必要があります(図2)。

しかし、チモシーの第1節は株毎に高さが違うため、多くのほ場で見られる5cmの刈り取り高では、第1節に傷がついてしまい、球茎が枯れる場合があります。

再生を考えると約10cmの刈り取り高が望ましいと考えられます。また、再生が向上すると雑草の侵入が減り、サイレージの品質向上も期待できます。



(Bergらの図を改変)

図2 チモシーの刈り取り高と再生の影響

～刈り高を変えて再生の違いを比べてみました～

刈り取り45日後では・・・

- 刈り高10cmの方が再生良好。
- 刈り高を5cmから10cmに変えることで、1番草の収量は7%程度低下したが、年間収量は2番草の増収によりほぼ同じ。

(結論) 刈り高を10cmにすると、2番草の再生が早まり、雑草の侵入抑制効果が期待できる



写真1 刈り高の違いによる2番草再生への影響(刈り取り45日後 中札内 並川ほ場)

(3) モアコンディショナの刈り高の調整

刈り高を10cmに近づける方法として、通称「ソリ」と呼ばれるオプション部品（商品名：ハイスキッドプレート、ハイカットスキット、ストーンガードなど）を装着する方法を紹介します（写真2）。

この部品を装着することで、モアコンの歯の高さを約4cm高くすることができます（写真3、4）。

機種により装着できないものもあるので、詳細はメーカーにご確認下さい。

装着後は、メーカー指定の方法で調整してください。



写真2 通常の部品（手前）とオプション部品のソリ（奥）では高さが4cm違う（写真協力：株式会社コーンズ・エージー）

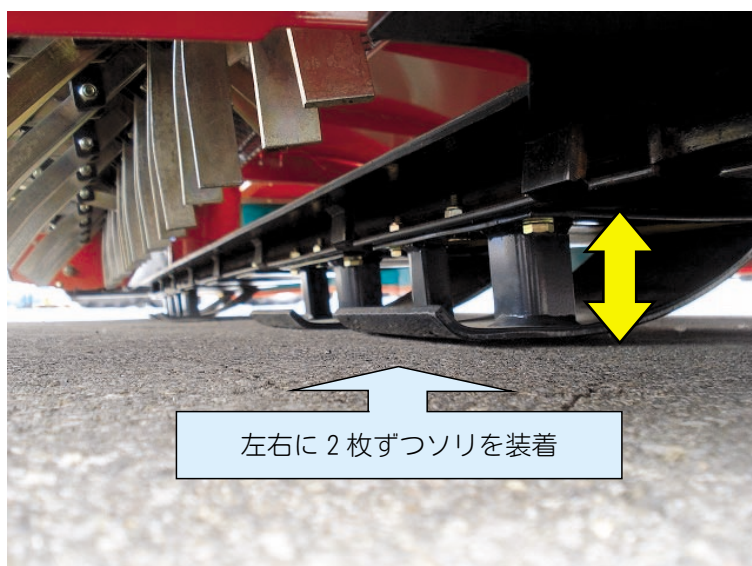


写真3 ソリを装着したようす（写真協力：井関農機株式会社）

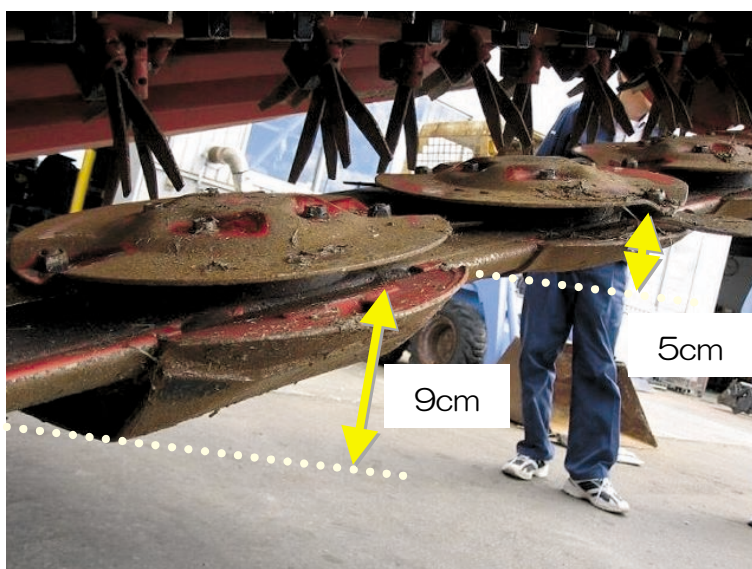


写真4 通常の部品（右）とオプションのソリ（左）を装着したものの高さを比較（写真協力：エム・エス・ケー農業機械株式会社）